

キャンパス改善へ！

学生アンケートの声を活用

明治学院大学では、学生の皆さんの声をキャンパス改善へつなげる取り組みを行っています。

皆さんの声から、施設や環境はどのように変わったのでしょうか？

毎年3月に実施している「学生アンケート」から改善につながった事例をご紹介します。

4

食環境の改善

横浜キャンパスの学食が混んでいる。昼ご飯の選択肢が少なく、キッチンカーは少し高い。購買もすぐ閉まってしまふ。

▶低価格メニューのキッチンカーを増やしました。9号館パンショップでは営業開始を早め、現在は1限前から購入できます。昼ご飯を購入してお昼休みは次の授業の教室で食べるのもおすすめです。

3

トイレの改善

白金キャンパス内の図書館や学食周りのトイレが古く、使いにくさを感じる。横浜キャンパスのようにきれいにしてほしい。

▶白金キャンパス図書館4～7階のトイレはすでに改修済みで、残る2、3階も2024年の夏休みに改修を終えました。2025年度以降はパレットゾーンやヘボン館のトイレ改修を検討中です。

2

Wi-Fiの改善

特に横浜キャンパスでWi-Fiがつながりにくく速度も遅い教室がある。地下などはないながらもネットワークを強化してほしい。

▶横浜キャンパスの無線LANを強化するため、夏休みからアクセスポイントの増強工事を開始しました。2024年度末にかけて、つながりにくさが解消される見込みです。

1

履修登録の改善

履修登録時にサーバーがダウンすることがある。回復後にアクセスしても、先着順の授業はすでに埋まっていることが多く困っている。

▶2023年度の履修登録開始前に行ったサーバーの強化に続き、これまで先着順で行っていた履修登録を2024年度から抽選に変更したことで、履修登録時の問題は大幅に改善しました。

アンケート協力をお願い

本学では毎年、学習成果調査・学生アンケート(3月)、授業評価アンケート(毎学期)を実施しています。これは学業や学生生活への意識や状況を大学が把握し、学生サービスや授業の向上・改善、ひいては大学・大学院教育、学部・学科教育の向上・改善を図ることを目的としています。各アンケートには自由記述欄も設けていますので、皆さんの学生生活をより良くするために、率直な声をぜひ聞かせてください。

アンケートに対し、徒労だ、なんの意味があるのか分らない、といったご意見を伺うことも少なくありません。しかしながら、皆さんの回答は確実に大学に届いており、どこから着手すべきかについて緊急、重要性、実行可能性の観点から検討を繰り返しています。一つの問題にも多様な意見があり、全員にとっての改善策にならないこともあり、すぐには解決できない問題もございます。少なくともアンケートを通じて我々も皆さんの想いを認識し共有できるようになります。皆さんが大学に問題を提示する機会であり権利です。積極的にご回答くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

皆さんの声を
届けてください



副学長 大野弘明